



第6回全国高校教育模擬国連大会報告 高1生2名が優秀賞獲得

8月6日(土)～7日(日)の両日に渡り、上記大会が開催され全国から集まった高校生が「森林保護」というテーマで熱い議論を交わしました。コロナ禍の中、今年はオンライン会議と対面会議を併用するハイブリッド方式で開催されました。本校からは高1の尾関君がブラジル大使として、後河内君がパプアニューギニア大使として対面議場に参加しました。模擬国連は本来2名でペアを組んで割り当てられた担当国の大使になるのが原則なのですが、両君ともペアの相方が諸事情で参加できなくなり、単独で参加することになりました。一人二役をこなすというハンディがある中で両君とも最優秀賞に次ぐ優秀賞を獲得しました。

国連という自分とはかけ離れた世界というイメージをお持ちの方が多いかもかもしれません。ご記憶の方も多いと思いますが、8月にNPT(核拡散防止条約)再検討会議で最終文書案がロシアの反対で採択されず決裂したというニュースがありました。参加国が自国の国益を守りつつ、コンセンサスを得られるように文書内の言葉遣いを修正していくわけですが、約1か月に及ぶ交渉の結果最後の最後で決裂したという知らせは多くの国を落胆させることになりました。今回の模擬国連は僅か2日間でしたが、どの高校生も国益を背負った大使として真剣に議論をし、最終決議案に盛り込む言葉遣いにも時間を掛けて取り組んでいました。どの大使もおそらく日常の学校生活の中では友達と時にはふざけ合っているようなどこにでもいる普通の高校生だと思うのですが、議場の中では本当に真剣に話し合っていました。引率教員としては各校生徒諸君のオンとオフのギャップに毎回驚かされると同時に、このような高校生がいてくれる限り日本はこの先、間違った方向には進んで行かないだろうという頼もしさと安心感をどこかで覚えます。以下両君より感想を寄せてもらいましたので御覧いただけますと幸いです。

高校1年2組 尾関 裕宜

模擬国連では、各校から参加する生徒に国が定められて、その国になりきり、どう世界をより良い場所にすることができるかを議論します。世界中に様々な国際問題がある中で、今回、議論したのは森林伐採についてです。40カ国ほど国のうち、僕はブラジルを担当し、ブラジルの国益に沿った政策の提案や主張を行いました。

ブラジルの主張の例を挙げると、ブラジル政府の予算を使わず、欧米諸国からの支援金だけで森林伐採の対策を行いたい、というものがありました。この主張の理由として、ブラジルはまだ発展途上であり、経済的にさらに豊かにならなければいけないので、安易に森林保護を推進するために国の予算を使うことが難しい状況にあります。ただ、もちろん欧米諸国からしてみれば、発展途上国に対して無制限に支援することはできません。ブラジルがある程度自分の国の予算を使って森林伐採の対策を行い、その「補助」をするという意味合いで支援金を送りたい、という主張になります。この場合、ブラジルの本音としては、自分の国の予算はあまり森林保護に費やしたくありませんが、欧米諸国から支援を引き出すには妥協する必要があります。このような妥協点を議論しながら探ることがこの大会の重要なプロセスであり、模擬国連における醍醐味でもあります。

この大会では、残念ながら先進国の国々と意見を1つにまとめることができませんでしたが、お互いに最大限譲歩し、歩み寄ったと思います。ブラジルは他の国々の意見をまとめ、政策を説明し、妥協点を探ることに奔走しました。模擬国連における賞の審査基準はさまざまですが、国々の意見を統一させ、なるべく多くの利益に繋がるような行動をとったことが賞をいただいた理由の一つだと思っています。今後も会議の反省を踏まえながら次に繋げたいです。

高校1年3組 後河内 琢磨

今会議の議題は「森林保護」でした。パプアニューギニアは森林保護はしたいけど汚職や違法伐採が原因でなかなか森林保護が進んでいない国でした。当日は発展途上国の開発より環境保護を優先している国々で集まり、議論をしていきました。初日の段階では3つのグループがバラバラに分かれている状態だったのですが、2日目にそれらのグループを1つにまとめ1つの決議案で提出することを目指しましたが、全ての大使の意見を決議案に入れることができず、最終的には決議案がフロントに受理されないという事態になってしまいました。今回優秀賞を受賞できたのは、自分のグループの議論をリードしながら、1つの決議案を提出するという姿勢が評価されてのことだと思います。今回の反省点としては全員で集まったのに全員が参加できる議論が出来ず、全ての大使の意見を盛り込めないことにつながってしまいました。今後は議場全体を見渡して、話していない大使に積極的に話を振ったり、個別に話を聞きに行くなど全体のことを考えて行動していきたいです。

最後に会議を主催して下さった方々、顧問の先生方、大使の皆様、そして会場を貸して下さった国立オリンピック記念青少年総合センター様に感謝申し上げます。新型コロナウイルスによるパンデミックがまだ完全に収まっていない中、様々な感染症対策を講じ、安心して会議に参加できる環境を整えてくださった関係者の方々には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。



左：ブラジル大使
尾関 君

右：パプアニューギニア大使
後河内 君

本来は賞状を手にした写真が撮影できればよかったのですが、発行段階でまだ届いておりませんでした。どうかご了承下さい。

EducationUSA 主催：秋のアメリカ大学留学フェアのお知らせ

EducationUSA はアメリカ国務省とアメリカ大使館と連携してアメリカ留学に関する情報発信をしている団体です。公平性を期すために特定の大学に限定した情報提供はされませんが、今回下記のイベント情報が届きました。将来アメリカの大学学部課程の進学を検討している生徒諸君はもしスケジュールが合えば参加してみるのもよいかもしれません。以下同団体公式 HP より転載します。

EducationUSA 主催：秋のアメリカ大学留学フェア

日時：2022年9月23日（祝・金）10:00-16:00

内容：秋のアメリカ大学留学フェアをハイブリッド形式（午前：オンライン、午後：対面の複合型）で行います。

- アメリカの2年制・4年制大学の担当者や卒業生に各大学について質問できます。
- EducationUSA アドバイザーから留学全般に関するアドバイスを受けることも可能です。
- 米国大学・大学院入学時に必要とされる各種英語テスト、日本国内で応募できる奨学金に関するセミナーも開催します。

◆スケジュール

10:00-12:00	カレッジフェア（オンライン）
12:00-13:10	セミナー1*（対面/オンライン） 各奨学金団体によるアメリカ留学のための奨学金情報-大学学部課程-
13:00-16:00	カレッジフェア（対面）
14:00-15:10	セミナー2*（対面/オンライン） 各種英語テストについて

◆会場（オンライン）：参加方法は登録された方に、イベント当日までにご案内します。

◆会場（対面）：赤坂インターシティコンファレンス（東京都港区赤坂 1-8-1 赤坂インターシティ AIR 3F・4F）

◆参加予定大学一覧：<https://www.fulbright.jp/study/event/2022-9-23-edusa-fair-school-list.pdf>

◆セミナー参加奨学金団体：日本学生支援機構、柳井正財団、米日カウンシル、笹川平和財団

◆セミナー参加テスト団体：TOEFL(ETS Japan)、IELTS、英検（日本英語検定協会）、IELTS(日本スタディ・アブロード・ファンデーション)、PTE Academic(ピアソン・ジャパン株式会社)

*セミナーについて：セミナーは、対面で実施しますが、オンラインでも配信します。対面会場では、セミナー終了後、50分程度、各奨学金/テスト団体に個別質問・相談が可能です。

奨学金や英語テストに関する情報も一緒に聞けるのは効率的だと言えます。費用は無料ですが、事前申し込みが必要です。希望者は以下のリンクより各自で手続きを御願います。

申し込み

<https://business.form-mailer.jp/fms/71ac5898175969>

同団体では留学以外にもアメリカに関する様々な情報発信をしています。興味のある生徒諸君はぜひHPを参照してみてください。

<https://americancenterjapan.com/>

